

製品名: STING ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86574**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.09mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:2000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:42 kDa; Observed MW:38 kDa

抗原情報

遺伝子名	STING
別名	ERIS; MITA; MPYS; SAVI; NET23; STING; hMITA; hSTING; TMEM173; STING-beta
遺伝子 ID	340061
SwissProt ID	Q86WV6
免疫原	ヒト STING の組み換えタンパク質

背景

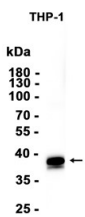
この遺伝子は、ウイルスおよび細菌感染に対する自然免疫応答の主要な調節因子として機能する、5回膜貫通型タンパク質をコードし

ています。コードされているタンパク質は、細胞質核酸を検出し、I型インターフェロン応答を活性化するシグナルを伝達するパターン認識受容体です。また、II型主要組織適合遺伝子複合体と会合することで、アポトーシスシグナル伝達に関与することも示されています。この遺伝子の変異は、乳児期発症型 STING 関連血管症の原因です。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014 年 9 月]

研究分野

-

画像データ



STING ウサギモノクローナル抗体を 1:10000 で使用して、THP-1 細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。